

第 111 回 埼玉県内企業経営動向調査－2020 年 4～6 月期－

調査対象：県内企業 547 社 調査方法（期間）：アンケート方式（4 月 17 日～5 月 19 日）
 回答企業：174 社(回答率 31.8%) 業種別内訳：製造業 91 社 非製造業 83 社
 調査分析方法 BSI 方式 各設問に対して、良い・増加・過大と回答する割合から悪い・減少・不足と回答する割合を差し引いた数値で業況などを分析する方式

調査時点	為替レート(円/ドル)	日経平均株価(円)
(前回) 2020 年 2 月 12 日	109.85	23,861.21
(今回) 2020 年 5 月 19 日	107.40	20,433.45

概況

埼玉県内企業の業況感は、新型コロナウイルス感染症拡大の打撃を受けて大幅に悪化している。

今回調査(2020 年 4～6 月期)の業況判断 BSI は、-56 と前回調査(1～3 月期 -22)比マイナス幅が 34 ポイント拡大しており、リーマンショック時の既往ボトム(2009 年 1～3 月期 -63)並みの大幅なマイナス水準となっている。

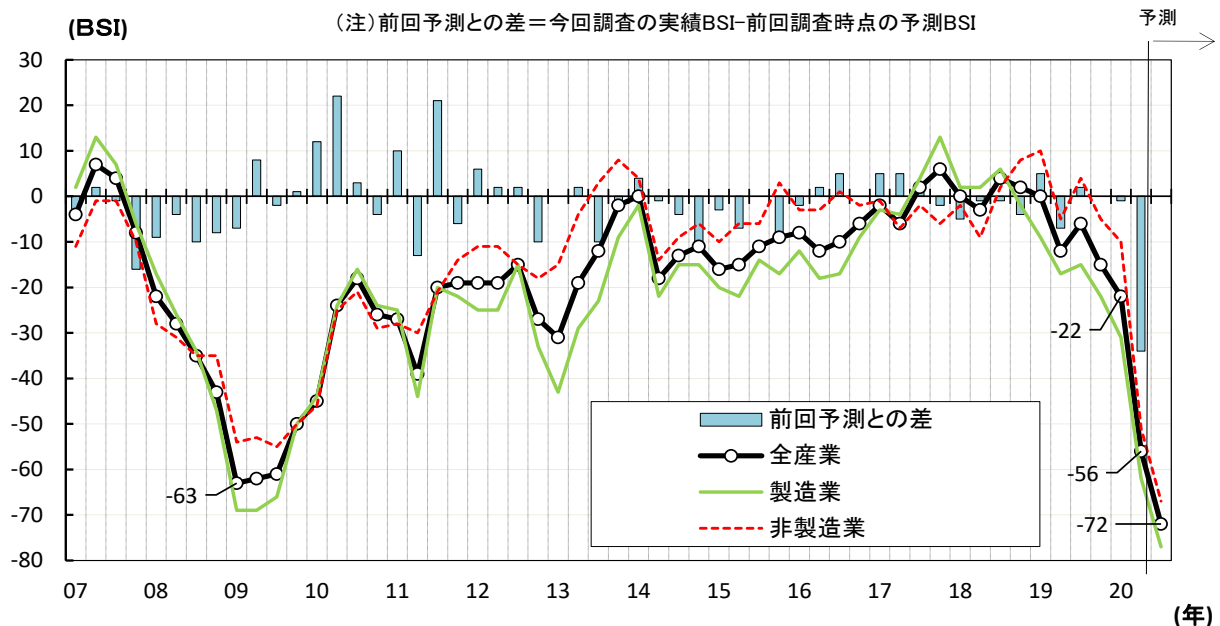
業種別にみると、製造業、非製造業ともに大きく落ち込んでいる(製造業：前回-31→今回-62、非製造業：前回-10→今回-51)。極く一部の企業(精密機械<医療機器部品製造>、飲・食料品<製造、卸・小売>、運輸・倉庫)で受注・売上が増加している先もみられるが、製造業、非製造業の殆どの業種で、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大による海外需要の減少に加え、休業や外出自粛による国内の経済・社会活動の大幅な縮小を受けて、業況感が大きく落ち込んでいる。

先行き(2020 年 7～9 月期)についても、-72 とさらに悪化する見通し。

製造業、非製造業ともにマイナス幅が拡大し、多く業種で悪化が続くとの見方にある(製造業：今回-62→先行き-77、非製造業：今回-51→先行き-67)。

(注) 今回のアンケート調査は、埼玉県に緊急事態宣言が出されていた 4 月 17 日～5 月 19 日に実施。

図表 1. 業況 BSI の推移



1. 業況判断 BSI (「良い」 - 「悪い」) ~大幅に悪化~

埼玉県内企業の業況感は、新型コロナウイルス感染症拡大の打撃を受けて大幅に悪化している。

今回調査(2020年4~6月期)の業況判断 BSI は、-56 と前回調査(1~3月期 -22)比マイナス幅が 34 ポイント拡大しており、リーマンショック時の既往ボトム(2009年1~3月期 -63)並みの大幅なマイナス水準となっている。

業種別にみると、製造業、非製造業ともに大きく落ち込んでいる(製造業:前回-31→今回-62、非製造業:前回-10→今回-51)。極く一部の企業(精密機械<医療機器部品製造>、飲・食料品<製造、卸・小売>、運輸・倉庫)で受注・売上が増加している先もみられるが、製造業、非製造業の殆どの業種で、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大による海外需要の減少に加え、休業や外出自粛による国内の経済・社会活動の大幅な縮小を受けて、業況感が大きく落ち込んでいる。

図表2. 規模別・業種別業況判断BSI

	2018年	2019年				2020年			7~9月 (先行き)
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	前回予想	
全体	2	0	-12	-6	-15	-22	-56	-22	-72
規模の小さい企業	-1	-3	-13	-14	-17	-25	-52	-24	-70
規模の大きい企業	6	2	-10	2	-12	-18	-61	-20	-75
製造業	-2	-9	-17	-15	-22	-31	-62	-32	-77
規模の小さい企業	-1	-8	-16	-25	-25	-36	-58	-31	-77
規模の大きい企業	-2	-9	-18	-2	-18	-26	-67	-34	-77
素材型	0	-13	-16	-6	-13	-33	-63	-35	-71
紙加工品等	-18	-56	8	9	18	-36	-60	-9	-60
化学・プラスチック・ゴム製品	0	-13	-13	18	27	0	-38	13	-63
鉄鋼・非鉄金属	-10	-11	-25	-11	-33	-44	-83	-56	-83
金属製品	30	30	-43	-20	-50	-50	-100	-70	-75
その他素材型	0	-20	-20	-27	-38	-27	-44	-45	-78
加工組立型	4	-2	-27	-32	-36	-48	-68	-43	-95
一般機械器具	58	31	-9	-30	-9	-40	-100	-40	-100
電気・情報通信機械器具	-33	-25	-70	-40	-10	-30	-44	-20	-89
電子部品・デバイス	-9	-22	-36	-88	-90	-70	-71	-50	-100
輸送機械	0	-20	-20	-20	-44	-67	-86	-78	-86
精密機械	0	29	14	33	-20	-20	-20	-20	-100
生活関連型	-20	-7	7	-14	0	25	-50	8	-40
飲・食料品	-11	13	13	0	13	50	-17	33	-17
印刷・同関連業	-33	-29	0	-29	-17	0	-100	-17	-75
その他製造業	-33	-67	0	40	-67	0	0	0	-67
非製造業	8	10	-5	4	-5	-10	-51	-10	-67
規模の小さい企業	0	4	-10	2	-5	-11	-45	-15	-61
規模の大きい企業	15	16	0	6	-5	-9	-56	-4	-73
一般建設	6	11	13	17	10	5	-29	10	-57
住宅建設	-13	14	-14	-17	20	-40	-20	0	-40
卸 売	15	0	-20	0	22	-7	-62	-21	-77
小 売	-6	10	-21	-5	-5	-26	-42	-26	-63
運輸・倉庫	33	25	0	13	-17	0	-45	-30	-55
不動産	43	0	0	0	-29	-33	-60	-17	-60
その他非製造業	-6	13	13	10	-29	0	-81	6	-94

2. 売上（生産）高 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業、非製造業ともに、「減少」超幅が大きく拡大～

製造業では、素材型、加工組立型、生活関連型の殆どの業種で、また、非製造業でも、一般建設、卸売、小売、運輸・倉庫で、売上（生産）の減少を見込んでいる。前回調査との比較では、製造業に比べて非製造業の落ち込み幅が大きくなっている。

図表 3 売上（生産）高 BSI

	(前々回調査) 19年10～12月期	(前回調査) 20年1～3月期	(今回調査) 4～6月期	(先行き) 7～9月期
全体	-1	-16	-59	-56
製造業	-1	-28	-59	-64
非製造業	-1	-1	-59	-46
規模の小さい企業	-2	-22	-55	-61
規模の大きい企業	0	-8	-63	-51

3. 経常利益 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業、非製造業ともに、「減少超」幅が拡大～

製造業、非製造業の殆どの業種で、経常利益の「減少」を見込んでいる。前回調査との比較では、製造業に比べて非製造業の落ち込み幅が大きくなっている。

規模別では、規模の小さい企業に比べ、規模の大きい企業の「減少」超幅が大きく拡大している。

図表 4 経常利益 BSI

	(前々回調査) 19年10～12月期	(前回調査) 20年1～3月期	(今回調査) 4～6月期	(先行き) 7～9月期
全体	-8	-15	-58	-58
製造業	-10	-26	-54	-67
非製造業	-5	-1	-61	-49
規模の小さい企業	-9	-20	-53	-63
規模の大きい企業	-6	-8	-63	-53

4. 海外需要 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業で「減少」超幅が大きく拡大～

製造業では、素材型、加工組立型を中心に「減少」超幅が大きく拡大している。

図表 5 海外需要 BSI

	(前々回調査) 19年10～12月期	(前回調査) 20年1～3月期	(今回調査) 4～6月期	(先行き) 7～9月期
全体	-3	-4	-26	-25
製造業	-3	-8	-35	-34
非製造業	-3	4	-11	-9
規模の小さい企業	-11	1	-21	-19
規模の大きい企業	5	-9	-32	-31

5. 生産（販売）設備 BSI（「過剰」－「不足」） ～過剰感が強まっている～

製造業では、素材型の化学・プラスチック・ゴム製品、金属製品で、生活関連型の飲・食料品、印刷・同関連で過剰感が強まっている。非製造業でも、一般建設、卸売、運輸・倉庫での過剰感の強まりから、「過剰」超に転じている。

図表 6 生産(販売)設備 BSI

	(前々回調査) 19年10～12月期	(前回調査) 20年1～3月期	(今回調査) 4～6月期	(先行き) 7～9月期
全体	1	0	11	12
製造業	2	4	14	24
非製造業	-1	-5	6	-3
規模の小さい企業	4	3	9	10
規模の大きい企業	-3	-3	12	14

6. 雇用人員 BSI（「過剰」－「不足」） ～製造業で「過剰」超に転化、非製造業では不足感が縮小～

製造業、非製造業の殆どの業種で、「不足」超幅が縮小または「過剰」超に転じている。全体では、2013年4～6月期以来の「過剰」超に転じている。

図表 7 雇用人員 BSI

	(前々回調査) 19年10～12月期	(前回調査) 20年1～3月期	(今回調査) 4～6月期	(先行き) 7～9月期
全体	-39	-29	3	6
製造業	-24	-10	17	24
非製造業	-58	-51	-12	-15
規模の小さい企業	-36	-25	-2	1
規模の大きい企業	-42	-33	8	11

7. 資金繰り BSI（「楽」－「苦」） ～「苦しい」超に転じている～

全体として緩和されている状況が続いてきたが、2014年10～12月期以来の「苦しい」超に転じている。先行きも「苦しい」超幅が拡大する見通し。

図表 8 資金繰り BSI

	(前々回調査) 19年10～12月期	(前回調査) 20年1～3月期	(今回調査) 4～6月期	(先行き) 7～9月期
全体	5	7	-2	-16
製造業	7	1	0	-13
非製造業	2	14	-5	-19
規模の小さい企業	-5	0	-1	-18
規模の大きい企業	17	15	-4	-13

以上